

学校法人金沢医科大学 平成16年度決算

去る5月25日(水)開催の第180回理事会及び第93回評議員会において、学校法人金沢医科大学の平成16年度決算が承認されました。決算の概要及び収支等の状況について、次のとおりご報告いたします。

1. 概要

平成16年度は、厳しい経営環境の中、教育面では学生への教育環境の整備、研究面では図書館情報システム更新等の研究環境の整備、診療面では病院新館稼働後の医療収益の確保と第二期整備計画の推進及び新臨床研修制度への対応などに配慮しながら諸事業を実施しました。

また、将来の退職金債務や病院第二期整備計画の推進及び老朽化施設の改修に備えるための資金確保についても予定額の積立てを行いました。

その結果、帰属収入は寄付金及び補助金等の減少により前年度を約8億円下回り241億6千万円となり、また支出は前年度を25億5千万円下回る239億8千万円となった結果、収支差額(正味財産増加額)は約1億8千万円の収入超過という結果になりました。

以下、平成16年度決算の概要について説明いたします。

2. 消費収支計算書の状況

【主な収入】

(1) 寄付金

寄付金総額は、前年比3億6千1百万円減の9億7千8百万円となりました。

創立30周年記念事業募金及び寄附講座に対する特別寄付金は1億6百万円で、その内、企業等からの受配者指定寄付金は3千2百万円でした。

一般寄付金は、16年度入学生からの寄付金が3億8千5百万円、学術振興基金制度によるものが4億7千4百万円の合計8億5千9百万円でした。

現物寄付金は、科学研究費補助金で購入した研究機器等の受入れ及び大学互助会からの病院新館会議室用備品の受入れで1千3百万円となりました。

(2) 補助金

補助金総額は、前年比3億9千7百万円減の12億4千9百万円となりました。

そのうち、私立大学等経常費補助金は前年比7千8百万円減の10億8千2百万円となり、また、新臨床研修制度に基づく臨床研修費補助金は前年比9千3百万円増の1億2千3百万円となりました。

そのほか、文部科学省からの施設整備補助金として学内無線LAN工事に5百万円、地方公共団体等からの各種補助金3千9百万円の合計4千4百万円が交付されました。

(3) 医療収入

医療収入総額は、前年比6千万円減の171億5千1百万円となりました。

入院収入は、新館への移転後の稼働病床数が75床減の938床となり、入院診療単

価及び病床利用率は若干前年度を上回ったものの、新入院患者数及び延患者数が減少したことなどから、前年比1億5千9百万円減の130億8千4百万円となりました。

一方、外来収入は、院外処方箋発行率の低下による外来診療単価の増及び外来患者数の増加等により、前年比9千9百万円増の40億6千7百万円となりました。

なお、医療収入全体の伸び率は前年比マイナス0.3%（前年度は1.2%増）また、帰属収入に占める割合は71.0%（前年度68.9%）となりました。

【主な費用】

(1) 人件費

教員人件費は前年比2千万円増の33億5千2百万円、職員人件費は新臨床研修制度による研修医給与分の増を含め1億3千2百万円増の70億9千7百万円となり、人件費総額では前年比30億8千3百万円減となる113億3百万円となりました。大幅な減額となったのは、前年度において退職給与引当金の引当率を50%から100%に変更したことにより、退職給与引当金繰入額の変更分を一括計上したためです。

なお、人件費の帰属収入に占める割合は46.8%（前年度57.6%）となりました。

(2) 医療経費

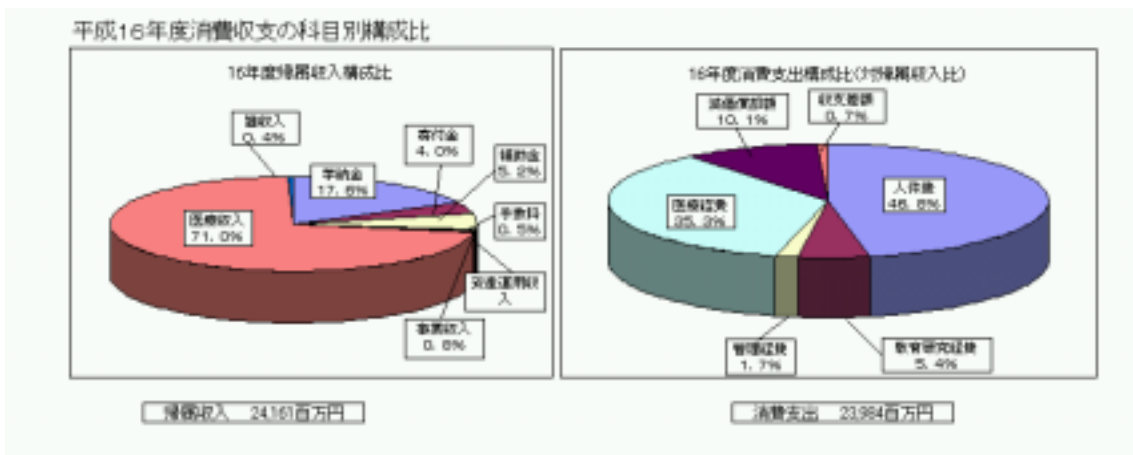
医療経費は前年比2億3千9百万円増の85億2千8百万円となりました。これは、医療材料費で前年度を1億3千2百万円下回ったものの、薬品費等の材料費で8千7百万円、その他の医療経費で2億8千4百万円増加したためです。

その他の医療経費の増加分は、新館稼働に伴う光熱水費、設備管理費、清掃・警備委託料等の増加分2億3千万円のほか、医療情報システムに係る開発費用等によるものです。

なお、医療経費の医療収入に占める割合は49.9%（前年度48.2%）また、帰属収入に占める割合は35.3%（同33.2%）となりました。

(3) 減価償却額

減価償却額は、前年比4億4千3百万円増の24億3千2百万円となりました。このうち、病院部門の減価償却額は、病院新館の建物・医療機器等の償却額が加わったことにより、前年比4億4千5百万円増の15億5千万円となりました。



消費収支計算書

(自)平成16年4月1日

(至)平成17年3月31日

(単位：百万円)

| 消費収入の部 | | | 消費支出の部 | | |
|----------|--------|-----|-----------|--------|---------|
| 科目 | 金額 | 前年比 | 科目 | 金額 | 前年比 |
| 学生生徒等納付金 | 4,248 | 70 | 人件費 | 11,303 | 3,083 |
| 手数料 | 123 | 16 | 教育研究経費 | 1,297 | 3 |
| 寄付金 | 978 | 361 | 医療経費 | 8,528 | 239 |
| 補助金 | 1,249 | 397 | 管理経費 | 413 | 24 |
| 資産運用収入 | 114 | 26 | 借入金等利息 | 0 | 0 |
| 事業収入 | 184 | 19 | 減価償却額 | 2,432 | 443 |
| 医療収入 | 17,151 | 60 | 資産処分差額等 | 11 | 124 |
| 雑収入 | 114 | 19 | | | |
| 帰属収入合計 | 24,161 | 808 | 消費支出の部合計 | 23,984 | 2,552 |
| | | | (正味財産増加額) | (177) | (1,744) |
| 基本金組入額 | 56 | 986 | | | |
| 消費収入の部合計 | 24,105 | 178 | 消費収支差額 | 121 | 2,488 |

(注) は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示(以下同じ)。

前年比は平成15年度決算との比較です。

3. 資金収支計算書の状況

【主な資金収入・支出】

(1) 借入金等収入

学校債により5億3千万円の資金調達を行いました。

(2) 借入金等返済支出

学校債の定期償還及び繰上償還等で、5億1千6百万円の償還を実施しました。

(3) 施設・設備関係支出

施設関係では、臨床研修センター改修工事費及び病院連絡廊下建設工事に係る設計料ほかで合計8千万円、設備関係では、教育研究用機器8千6百万円、臨床化学自動分析装置を含む病院医療用機器5億5百万円、図書整備費9百万円及び患者搬送車更新費8百万円他、合計6億1千1百万円を支出しました。

(4) 資産運用支出

将来の退職金債務及び老朽化施設・設備の更新費用に対する財源を確保するため、退職給与引当特定資産に5億円、施設拡充引当特定資産に25億円、また新たに医学教育海外交流引当特定資産に5千万円の計30億5千万円を積立てました。

資金収支計算書

(自)平成16年4月1日

(至)平成17年3月31日

(単位：百万円)

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|------------|--------|-------|-----------|--------|-------|
| 科目 | 金額 | 前年比 | 科目 | 金額 | 前年比 |
| 学生生徒等納付金収入 | 4,248 | 70 | 人件費支出 | 11,069 | 236 |
| 手数料収入 | 123 | 16 | 教育研究経費支出 | 1,297 | 3 |
| 寄付金収入 | 965 | 323 | 医療経費支出 | 8,547 | 280 |
| 補助金収入 | 1,249 | 397 | 管理経費支出 | 413 | 22 |
| 資産運用収入 | 114 | 26 | 借入金等利息支出 | 0 | 0 |
| 資産売却収入 | 3 | 3 | 借入金等返済支出 | 516 | 341 |
| 事業収入 | 184 | 19 | 施設関係支出 | 80 | 1,955 |
| 医療収入 | 17,151 | 60 | 設備関係支出 | 611 | 1,042 |
| 雑収入 | 114 | 19 | 資産運用支出 | 3,050 | 1,050 |
| 借入金等収入 | 530 | 110 | その他の支出 | 2,405 | 243 |
| 前受金収入 | 4,215 | 85 | | | |
| その他の収入 | 3,475 | 3,197 | 資金支出調整勘定 | 2,783 | 645 |
| 資金収入調整勘定 | 6,972 | 428 | 次年度繰越支払資金 | 5,426 | 194 |
| 前年度繰越支払資金 | 5,232 | 1,070 | | | |
| 収入の部合計 | 30,631 | 2,491 | 支出の部合計 | 30,631 | 2,491 |

4. 貸借対照表の状況

【主な増減】

(1) 資産については、前年比 11 億 7 千 7 百万円増の 571 億 8 千万円となりました。

建物、構築物他が減少しているのは、主に減価償却額分の減少によるものです。

教育研究用機器備品他が減少しているのは、機器の除却額及び減価償却額が設備投資額を上回ったためです。

退職給与引当特定資産は、積立て分が増加し 41 億 3 千 8 百万円となりました。これは、退職給与引当金期末残高の 57.2%に相当します。

施設拡充引当特定資産は、積立て分が増加し 25 億円となりました。また、医学教育海外交流引当特定資産は、積立て分が増加し 5 千万円となりました。

(2) 負債については、前年比 10 億円増の 187 億 3 百万円となりました。

退職給与引当金は、取崩しと繰入れを行った結果、前年比 2 億 3 千 3 百万円増の 72 億 3 千 6 百万円となりました。

流動負債のうち、未払金が前年比 6 億 4 千 7 百万円の増となったのは、医療情報システムに係る開発費等約 3 億円ほかの支払いが翌期（17 年度）になっていること等によるものです。

(3) 正味財産の総額は、前年比 1 億 7 千 7 百万円増の 384 億 7 千 7 百万円となりました。この結果、資産総額に対する正味財産の割合（自己資金比率）は 67.3%となり、前年度より 1.1%減少しました。また、私立医大平均（15 年度末の単科医大平均値）は 69.0%であり、これに対しても 1.7 ポイント下回る結果となりました。

貸借対照表

平成 17 年 3 月 31 日現在

（単位：百万円）

| 資産の部 | | | 負債の部 | | |
|------------|--------|-------|----------------|--------|-------|
| 科目 | 金額 | 前年比 | 科目 | 金額 | 前年比 |
| 固定資産 | 48,721 | 1,310 | 固定負債 | 11,060 | 240 |
| 土地 | 3,098 | 0 | 長期借入金、学校債 | 3,824 | 7 |
| 建物、構築物他 | 23,368 | 1,328 | 退職給与引当金 | 7,236 | 233 |
| 教育研究用機器備品他 | 5,181 | 422 | 流動負債 | 7,643 | 760 |
| 図書 | 1,186 | 10 | 短期借入金、学校債 | 356 | 8 |
| 退職給与引当特定資産 | 4,138 | 500 | 未払金 | 2,783 | 647 |
| 減価償却引当特定資産 | 9,200 | 0 | 前受金他 | 4,504 | 105 |
| 施設拡充引当特定資産 | 2,500 | 2,500 | 負債の部合計 | 18,703 | 1,000 |
| 海外交流引当特定資産 | 50 | 50 | 正味財産の部 | | |
| 流動資産 | 8,459 | 133 | 科目 | 金額 | 前年比 |
| 現金預金 | 5,426 | 194 | 基本金 | 58,067 | 57 |
| 未収入金 | 2,836 | 347 | 消費収支差額 | 19,590 | 120 |
| 貯蔵品他 | 197 | 20 | 正味財産の部合計 | 38,477 | 177 |
| 資産の部合計 | 57,180 | 1,177 | 負債の部及び正味財産の部合計 | 57,180 | 1,177 |

（注）減価償却額の累計額は 25,151 百万円です。

退職給与引当金の額は、期末要支給額 7,236 百万円の 100%を計上しています。